

勝山中応援団構想 ～地域とともにある学校をめざして～

下関市立勝山中学校

学校運営協議会について

・主な協議内容

- 第1回 学校運営協議会連携組織、本年度の取組について（5月28日）
- 第2回 ユニット型研修会（道徳科授業研究）への参加（6月16日）
- 第3回 前期学校評価、綱紀保持研修について（9月15日）
- 第4回 学校支援、地域貢献、前期学校評価集計結果について（10月22日）
- 第5回 各推進プロジェクト別取組状況について（11月20日）
- 第6回 後期学校評価、年間の反省について（1月21日）
- 第7回 次年度の学校運営、学校評価書について（3月2日）

*新型コロナウイルス感染症対策として 4月、8月（熟議）、12月は中止

特色ある活動

◆応援団創部 学校内外へ元気発信



令和2年5月、「元気発信」をテーマに応援団を設立。今年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響で校内行事のみの活動。今後は各部活動の大会、同窓会、地域行事への参加をはじめ、地域清掃ボランティア活動等を展開する予定。活動依頼募集中。

◆学習応援団開設



令和2年5月、企業連携による学習支援動画サイトを開設。学校・企業のホームページから閲覧可能。今後は市内の看護学校でスクーリングを開催予定。「学びが好きな子ども」「下関が好きな子ども」づくりへの提案。協力企業募集中。

◆生徒のニーズに合わせた部活動応援団



令和元年度から総合型地域スポーツクラブとの連携による部活動運営を検討。令和2年度から「勝山地区夢プロジェクト」を支える「コミュニティクラブ東亜」との連携を図り、硬式テニス部で試行。令和3年度から完全実施。新しい取組への挑戦。

来年度に向けて

今年度、新型コロナウイルス感染症の影響で地域行事（御田植祭、勝山地区総参加親睦大運動会等）が、中止となりました。しかし、そのような状況の中で、「応援団創部」「学習応援団開設」「生徒のニーズに合わせた部活動応援団」の3つを柱に自分たちが生活するまちを学校から創ろうとする主体的な意識が生まれてきました。

来年度は、これらの活動を進化させていくとともに隣の地区である「川中地区」との連携を図る。「新下関ダービー（仮称）」と称して、「勝山中対川中中」の部活動での対抗戦を企画し、地域を巻き込んで開催する予定です。子どもたちの元気な姿を地域に発信していき、これらの活動をとおして、学校と地域との連携の好循環が一層強化されます。まずは、スタート。

すてきな学びとことばと行動をめざして

下関市立勝山小学校

学校運営協議会について

学校運営協議会…年3回実施（6月 12月 3月）

- ・学校運営方針の承認
- ・本年度の取組（感染症対策）について
- ・学校評価をもとに意見交換、今後の取組内容の審議

勝山地区夢プロジェクト推進協議会…年3回実施（6月 11月 2月）

- ・本年度の取組について（各校の現状とCSの取組状況）
- ・小中連携学校地域連携カリキュラムの作成について

特色ある活動

◆ 小・中連携あいさつ運動（勝山中学校3校合同取組）

ねらい 「すすんであいさつ、気持ちのよいあいさつ」があふれる学校、地域の実現に向け、小・中学生合同であいさつ運動を行うことで、児童同士、児童と生徒、児童・生徒と地域の方とのあいさつを活性化させる。

実施日 令和3年2月16日（火）7：30～7：50

参加者 60名（小学生、中学生、地域関係者、教職員）

内容 勝山小学校の正門と裏門付近に、小学生（生活委員会）と中学生（生活委員会）、地域関係者、教職員が立ち、登校してくる児童や行き交う地域の方にあいさつをする。あいさつは、勝山中学校3校共通の重点取組事項であり、このような取組を通じて、気持ちのよいあいさつが学校はもちろん地域にまで広まることを期待している。

※ 同日同時刻に、一の宮小学校でもあいさつ運動を実施。

◆漢字検定

実施日 令和3年1月30日（土）

主催 勝山小学校学校運営協議会 会場 勝山小学校

受験者 勝山小児童、保護者、勝山中学校生徒

内容 より多くの児童に語彙力・漢字能力を身につけさせるとともに、受検対象を家族にも広げることにより、保護者や中学生の受検者が増え、家庭で家族とともに受検に備えて学習するなど、漢字検定受検を通して家族の絆を深めるきっかけにもしてほしいという思いから、日本漢字能力検定（以下、「漢検」）を実施しています。

今年度は150名を越える受検希望があった。年々増えている状況にあり、漢字学習への意欲が高まっているように思われます。

当日は、土曜日で寒さが厳しい日であったが、受検を希望した1年生から6年生までの児童、保護者、中学生が真剣に問題に向き合っていました。会場準備や受付、試験監督等の運営は、ボランティアスタッフと教職員とで協力し、感染症対策をしっかりととりながら行いました。



来年度に向けて

コロナ禍においても、勝山小の児童が、学校教育目標「すてきな大人への成長～すてきな学びとことばと行動をめざして～」を意識しながら活動し、小・中学校が連携したあいさつ運動の活性化、外部人材を活用した授業支援や児童と地域との関わりを深めていくような取組を続けていきたいと思います。

また、合唱部の活動を通じた地域貢献にも引き続き取り組み、歌声で地域に元気を届け続けていきたいと思います。

すてきな大人への成長をめざして

下関市立一の宮小学校

学校運営協議会について

- 1 委員の構成
 - 1 5名（自治会長、保護者、学識経験者、地域の方等）
- 2 実施回数
学期に1回程度開催
- 3 協議内容
 - ①第1回学校運営協議会（5月）
「令和2年度一の宮小学校学校運営協議会の会長・副会長」と「令和2年度学校経営方針」の承認（書面表決）
 - ②第1回勝山地区夢プロジェクト推進協議会（6月）
 - ・今年度の取組について
 - ・熟議について
 - ・各学校の現状とCSの取組状況
 - ・意見交換
 - ③第2回学校運営協議会（11月）
 - ・授業参観
 - ・各部会（確かな学力、豊かな心、健康・安全）の取組状況の説明
 - ・意見交換
 - ④第2回勝山地区夢プロジェクト推進協議会（11月）
 - ・勝山地区夢プロジェクト推進協議会の取組について
 - ・各学校の現状とCSの取組状況について
 - ・「学校・地域連携カリキュラム」について
 - ・意見交換
 - ⑤第3回学校運営協議会（2月）
 - ・学校評価アンケートの結果について
 - ・学校評価書について
 - ・来年度の学校運営（案）について
 - ・質疑ならびに情報交換
 - ⑥第2回勝山地区夢プロジェクト推進協議会（2月）
 - ・勝山地区夢プロジェクト推進協議会の取組について
 - ・各学校CSの状況について
 - ・令和3年度の取組について
 - ・意見交換



特色ある活動

- 1 勝山中学校区での共通実践
中学校のテスト週間にあわせて「みんなでがんばろう週間(ノーメディアウィーク)」を実践しています。
- 2 地域の方の見守り活動
登下校時、横断歩道や危険箇所立ち、交通安全指導、見守り活動を行っています。
- 3 小中連携あいさつ運動
校区内の小学校に中学生が行き、合同であいさつ運動を行っています。

来年度に向けて

- ・読み聞かせのボランティアの組織を学校運営協議会やPTAと連携しながら、充実させていきたい。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分な活動ができなかったが、学校の課題解決のため、感染状況に応じた活動を実施していきたい。